

ロジックモデル②

課題「がんによる死亡割合の減少」

担当：Bグループ
(職域との連携グループ)

- 重点施策1 働き盛り世代の健康づくりの習慣化に向けたセルフマネジメントの推進
- 重点施策2 戦略的な普及啓発・広報強化

インプット(やるべきこと)		インプットに求める成果	アウトプット	アウトカム(達成したいこと)		インパクト
行政	関係団体			短期アウトカム	長期アウトカム	
◆広報活動の強化や関係機関との連携により、受診率向上のための取組(受診勧奨など)、受診しやすい環境づくりの推進 ◆関係機関等と連携した、女性特有のがん検診の受診率向上のための受診勧奨を実施	◆がん検診を受診しやすい環境の整備(企業)	定期的ながん検診を受け、健康管理をしている人が増える。	・がん検診の受診率 ・がん検診の精密検査受診率	★「望まない受動喫煙の機会がある人(小学5年生・中学2年生・16歳以上)」の減少	★「がんによる死亡割合」の減少	★健康寿命の延伸
・イベント、WEBサイト、SNS、広報誌等での啓発活動 ◆がん予防の知識やがん検診の有効性についての普及啓発 ◆たばこの害や受動喫煙に関する知識の普及啓発	・市民への啓発活動(地域団体) ◆受動喫煙防止対策を行う施設の増加	がんに対する正しい情報を得て、行動することができる。	・がん周知・啓発イベントの実施回数 ・普及啓発実施回数(イベント、WEBサイト、SNS、広報誌等)	・「定期的ながん検診を受診する人」の増加※1		

- ★ 計画の目標項目として設定している項目
- ※1 健康づくりに関するアンケート(令和5年)
- ※2 人口動態統計 死因別死亡割合(令和4年)

「職域(企業)と連携した壮年期(働き盛り世代)の健康づくり～若い世代の健康意識を高めるための取組～」をテーマに、今後の行政・関係団体の取組内容について、グループワークにて検討